発行 青森県感染症情報センター(2015年12月3日)

(青森県環境保健センター:担当 微生物部)

TEL 017-736-5411、 FAX 017-736-5419

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/kansen.html

I 第 **48 週の発生動向** (2015/11/23~11/29)

- 1. RS ウイルス感染症については、患者報告数が前週の84人から54人に減少しました。
- 2. 流行性耳下腺炎については、患者報告数が前週の11人から25人に増加しました。
- 3. インフルエンザの患者報告数は1人で、迅速キットによる型別はA型でした。

Ⅱ 第 48 週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

			東青		中南	:	三八	Ē	西北	-	上北	-	下北			
	疾患名		方保健所・ †保健所)	(弘育	前保健所)	(八戸	保健所)	(五所川	原保健所)	(上十	三保健所)	(むへ	保健所)	青森	県 計	前週から の増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ			1	0. 07									1	0. 02	0
	RSウイルス感染症	11	1. 38	19	2. 11	3	0.30	13	2.60	5	0.83	3	0. 75	54	1. 29	-30
	咽頭結膜熱	4	0. 50	1	0. 11	11	1. 10	2	0.40	1	0. 17			19	0. 45	-3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	2. 25	9	1.00	22	2. 20	1	0. 20	2	0. 33	1	0. 25	53	1. 26	8
	感染性胃腸炎	46	5. 75	28	3. 11	28	2. 80	30	6.00	11	1.83	11	2. 75	154	3. 67	6
小	水痘	9	1. 13	2	0. 22	5	0.50	1	0. 20	3	0.50			20	0.48	-5
児 科	手足口病			2	0. 22	4	0.40	7	1.40	1	0. 17	13	3. 25	27	0.64	-1
料	伝染性紅斑									2	0. 33	3	0. 75	5	0.12	-6
	突発性発しん	2	0. 25	4	0. 44	5	0.50	1	0. 20	6	1.00	3	0. 75	21	0.50	2
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ			2	0. 22	4	0.40	1	0. 20					7	0.17	3
	流行性耳下腺炎	22	2. 75	2	0. 22							1	0. 25	25	0.60	14
眼	急性出血性結膜炎															0
科	流行性角結膜炎	2	1.00	1	0. 33	1	0.50							4	0.36	-3
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
基	マイコプラズマ肺炎		•									4	4.00	4	0. 67	-5
幹	無菌性髄膜炎		•						•							-1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、

は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

Ⅲ 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 八戸3人、上十三1人(2015年計:270人)
- **Ⅳ 病原体検出情報** 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

侵襲性インフルエンザ菌感染症(五類全数把握疾患)

侵襲性インフルエンザ菌感染症は、インフルエンザ菌(Haemophilus influenzae)による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症で、髄膜炎例及び敗血症例などがあります。2013年4月1日から五類全数把握疾患に追加されました。ちなみに、侵襲性感染症とは、血液や髄液等、本来無菌的な部位から細菌が分離された感染症を指します。

臨床的特徴として、潜伏期間が不明のうえ、発症は一般的に突発的で、上気道炎や中耳炎を伴って発症することがあります。髄膜炎例では、頭痛、発熱、髄膜刺激症状の他、痙攣、意識障害、乳児では大泉門膨隆等の症状を示します。敗血症例では、発熱、悪寒、虚脱や発疹を呈しますが、臨床症状が特異的ではないことも多く、急速に重症化して肺炎や喉頭蓋炎並びにショックを来すことがあります。

2014 年 10 月に国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報 IASR Vol.35 No.10(No.416)によると、2013 年 4 月~2014 年 8 月 20 日の期間で実施した感染症発生動向調査で計 235 例が報告されており、患者年齢分布は小児と高齢者にピークがあり、全症例に対する 5 歳未満と 65 歳以上の割合は 17%、57%でした。

2015 年における全国の第 46 週時点の報告数は 207 人で、5 歳未満は 30 人(14%)、65 歳以上は 135 人(65%) でした。青森県では第 48 週現在の報告数は 3 人で、全て 65 歳以上の高齢者です。地域別内訳は弘前保健所管内で 2 人、八戸保健所管内で 1 人です。

予防対策として、ワクチン接種が有効です。インフルエンザ菌のうち、小児の侵襲性感染症の原因の主体である H.influenzae type b(Hib)に対しては Hib ワクチンがあり、2013 年 4 月の予防接種法の改正に伴い Hib ワクチンが定期接種に組み込まれています。定期予防接種については市町村の予防接種担当課にお問い合わせください。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2015 年第 38 週~2015 年第 48 週)

		東青	中南	三八	西北	上北	下北
週	期間	(東地方保健所· 青森市保健所)	(弘前保健所)	(八戸保健所)	(五所川原保健所)	(上十三保健所)	(むつ保健所)
38	H27.9.14 ~ H27.9.20	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症2人					
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	腸管出血性大腸菌 感染症1人					
40	H27.9.28 ~ H27.10.4		腸管出血性大腸菌 感染症1人				
41	H27.10.5 ~ H27.10.11			梅毒1人			アメーバ赤痢1人
42	H27.10.12 ~ H27.10.18	侵襲性肺炎球菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人			
43	H27.10.19 ~ H27.10.25						
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	アメーバ赤痢1人		クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人			
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	侵襲性肺炎球菌 感染症1人					
46	H27.11.9 ~ H27.11.15	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	侵襲性インフルエンザ 菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌 感染症1人				
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人					
48	H27.11.23 ~ H27.11.29						

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第38週~2015年第48週)

単位:人

<u> </u>	[[[]] [[]] [[] [[] [[] [] [] [[] [] [] [(2020	1 3/1 00 167 7	1010 N1 10 X	<u>-</u>		
週	期間	東青 (東地方保健所・	中南(引並保健証)	三八	西北	上北	下北(わる伊藤)
		青森市保健所)	(弘前保健所)	(八戸保健所)	(五所川原保健所)	(工十二休健川)	(むつ保健所)
38	H27.9.14 ~ H27.9.20		1		1	1	
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	2		1			1
40	H27.9.28 ~ H27.10.4	3	2	4		1	
41	H27.10.5 ~ H27.10.11	1	1	3		1	
42	H27.10.12 ~ H27.10.18				1	1	
43	H27.10.19 ~ H27.10.25	2					
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	1	3	1	1		1
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	5	2				
46	H27.11.9 ~ H27.11.15		1	1			1
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	2	2	1			
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			3		1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注:発生状況は**速報値**であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

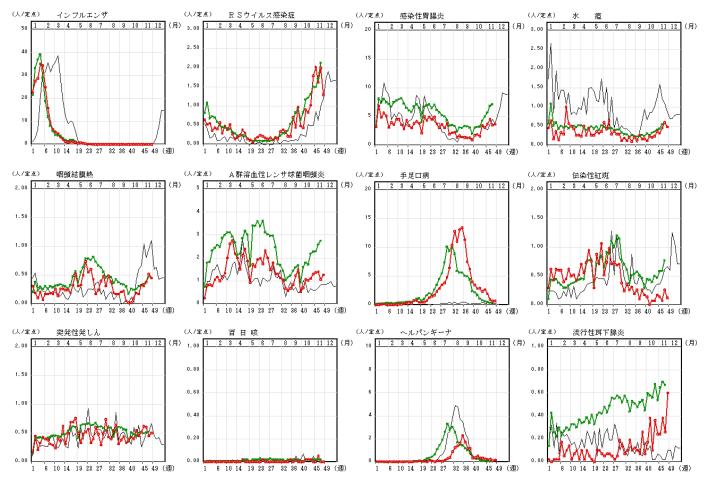
全国 (2015 年第 1 週~第 46 週累計)

	-		(201	0 1 713	- ~	71 10	200	1 /															
分類	_類	三類	三類	三類	Ξ類	Ξ類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大 腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス 症	オウム病	回帰熱	コクシジオイ デス症	重症熱性血小 板減少症候群	チクングニア 熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	野兎病	ライム病
累積報告数	20939	6	146	3392	32	29	170	221	13	5	3	3	57	16	182	262	196	2	4	1	39	2	8
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	白/川7併旺	カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症	急性脳炎	クリプトスポリ ジウム症	クロイツフェル ト・ヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫不 全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフ ルエンザ菌感 染症	侵襲性髄膜炎 菌感染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプト コックス症	破傷風	バンコマイシ ン耐性腸球菌 感染症	風ん		薬剤耐性アシ ネトバクター感 染症
累積報告数	1	1396	25	952	219	1451	437	13	157	374	1225	71	207	26	1963	258	2211	100	102	52	151	33	28

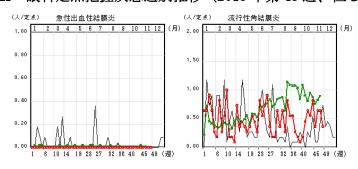
青森県 (2015 年第 1 週~第 48 週累計)

分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大 腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性料	カルバペネム 耐性腸内細菌 科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェル ト・ヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫不 全症候群	侵襲性インフ ルエンザ菌感 染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院 例)	梅毒	破傷風	バンコマイシ ン耐性腸球菌 感染症
累積報告数	270	47	1	8	2	11	1	16	2	. 2	3	2	3	17	2	6	1	1

WⅢ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移(2015 年第 48 週、但し全国は前週)

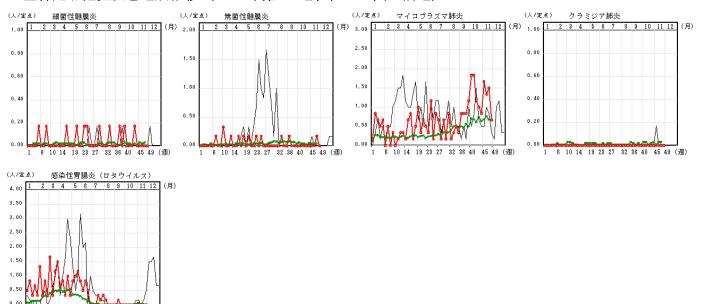


IX 眼科定点把握疾患週別推移(2015年第48週、但し全国は前週)



6 10 14 19 23 27 32 36 40 45 49 (週)

X 基幹定点把握疾患週別推移(2015 年第 48 週、但し全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑い含む)の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」(平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知)に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑いを含む)の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成27年第48週

報 告 週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第48週	介護•老人福祉関係施設	10	弘前保健所

平成27年報告件数及75発症者数

一次27年刊日日双及び元型			_	_	_	_		_						=			
	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			11月			計
施設種別		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40-43週	44週	45週	46週	47週	48週	(施設別)
介護·老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16
月	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	285
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	10
沉里" 烱入)	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	30	29	0	0	0	0	186
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
四百	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
てい他他設	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 / 미메\	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	2	1	0	0	0	1	28
計(月別)	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	30	29	0	0	0	10	497